



1 穂波東校開校 ～「穂波東校小中一貫教育だより」の発行～

平恒小学校、楽市小学校の統合を経て、穂波東中が新校舎に移転し、小中一貫校穂波東校がいよいよ開校しました。新しい学校ができるというのは、数十年に一度あるかないかの大きな出来事であり、そのような歴史的な場面に同じ学校にいる先生方や子どもたちとは運命的なものを感じます。

小学部・中学部合わせて、70名を超える職員と、900名を超える児童生徒とともに、穂波東校の新しい歴史を創り上げていくことになるわけですが、開校から約3年間で創り上げた姿が、その後、何十年と続く、穂波東校の基礎となり、土台となっていくことを考えると、私たちの使命、役割は大きなものがあると感じます。

これから皆さんとともに創り上げていく穂波東校の歩みをこの「だより」を通して発信し、記録として残していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



2 小中一貫校づくりの三つの柱

小中一貫校づくりは「教育活動づくり」「学校運営づくり」「校内環境づくり」の三つの柱から成ります。前年度までの取り組みの中で、既に様々な「三つの柱づくり」が創り上げられています。

前年度までの取り組みで進められた「三つの柱づくり」の一例

- | | | |
|-----------|---|--|
| 「教育活動づくり」 | ➡ | ・クリーンアップ活動(5,7年異学年交流) ・合同全校合唱(6~9年)
・穂波東校9年間教育活動プランに基づく教育活動 etc. |
| 「学校運営づくり」 | ➡ | ・穂波東校小中一貫教育推進会議 ・穂波東校校務分掌組織
・穂波東校学習内容系統表 ・穂波東校9年間キャリア教育指導計画
・穂波東校研究部会&教科部会(代表者会)・穂波東校生活のきまり etc. |
| 「校内環境づくり」 | ➡ | ・児童生徒の作品 ・ルールの掲示物 etc. |

本年度からは小中が同一校舎になったことで、時間的にも距離的にも、これまで以上に取り組みを進めることが容易になりました。この施設一体の条件を活かし、本年度は更に「三つの柱づくり」を進めることができよう、ご協力をお願いします。

コラム：施設一体型の条件を生かす

7学年職員の朝の打ち合わせの時です。7年生の先生が「旧6年の担任の先生から、7年生が少しだけ見えているように見えますと、アドバイスをもらいました。」と発言されていました。周りの先生方は頷きながら聞いておられました。貴重なアドバイスは、その日の指導に活かされたことだと思います。これこそ施設一体の強みの一例です。小中の先生方の情報交換が日常的にできることは、相乗効果を生みます。今回も6年から7年にかけて起りがちな「中1ダウン」を防ぐ取り組みにつながりました。

この他にも、施設一体になったことで見えてきた小中の違いを合わせることで、その効果を高めようとする提案(例えば、家庭状況書の統一等)も日々出されています。先生方の積極性に感謝します。